

## アンケート結果のまとめ

＜介護予防・日常生活圏域ニーズ調査＞

調査項目	アンケート結果（必要な対策）
家族や生活状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ひとり暮らしの割合が75歳以上で2割強と後期高齢者が多い</li> <li>○中学校区別では和泉中学校区で多い傾向</li> <li>○現時点で普段の生活に介護・介助の必要性がある一般高齢者は少ない</li> <li>○何らかの介護を受けている人が増加</li> <li>○高齢夫婦世帯が将来的にひとり暮らし世帯へ移行する際に、介護サービスのヘルパーのニーズが高まる</li> <li>○持家を壊す、貸す、譲るなどの将来の方針を決めていない方が、約6割</li> </ul> ⇒相続相手や方針などを事前に決めておく、各種制度の周知
からだを動かすこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動機能の維持・向上のための日頃の動作は後期高齢者になると「できるけどしていない」状態になり、加齢とともに機能低下が進行</li> <li>○転倒リスクありは85歳以上では半数を占める</li> </ul>
外出・移動手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>○閉じこもり傾向リスクありの割合は85歳以上で急増し、4割超</li> <li>○移動手段として車に依存せざるを得ない状況あり</li> </ul> ⇒高齢者の移動手段の確保
食べること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歯の数20本以上は、85歳以上で2割弱。85歳以上で口腔機能のリスクが上がる</li> <li>○高齢者の約2割が孤食状態</li> </ul>
毎日の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一般高齢者の「できないこと」は男性では食事の用意、女性では1人での外出</li> <li>○必要な生活支援サービスは、ひとり暮らし人のニーズが高い</li> </ul> ⇒高齢者のニーズに応じた生活支援サービスを検討
地域での活動 たすけ合い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○たすけ合いやボランティアへの参加意向を持つ人は多い</li> </ul> ⇒実際の活動に結びつける仕組み、環境づくりの充実
健康状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>○男女ともに「高血圧」が最も多く、男性は「糖尿病」が続くが、女性では「筋骨格の病気（骨粗しょう症等）」が続く</li> </ul> ⇒健康づくりのプログラム等を検討
認知症	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認知症についての相談窓口の認知度は微増</li> </ul> ⇒一層の周知、PRが必要

<在宅介護実態調査>

調査項目	アンケート結果
<p>A票 認定調査員が記載</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家族等による介護の頻度は、「ほぼ毎日ある」が減少</li> <li>○高齢の介護者が要介護度の重い方を介護している</li> <li>○介護保険サービス以外の支援・サービスの利用は「利用していない」が半数、利用は「移送サービス」、次いで「配食」、「見守り、声かけ」</li> <li>○在宅生活に充実が必要な支援・サービスは、「外出同行」、「移送サービス」と移動手段への要望が強い</li> <li>○施設等の入所は要介護3以上で「検討している」が4割、「申し込み中」が2割</li> <li>○本人の傷病は「認知症」が半数、次いで「脳血管疾患」、「糖尿病」</li> <li>○要介護度が重くなるにつれて「認知症」の割合が増し、要介護3以上で6割超</li> <li>○介護保険サービスの利用は8割超で前回から増加。要介護3以上では9割</li> </ul>
<p>B票 主介護者または本人が記載</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主な介護者の勤務形態は、フルタイムが増加、パートタイムが減少</li> <li>○介護との両立のために効果的な勤め先からの支援要望は「労働時間の柔軟な選択」、次いで「労働時間の柔軟な選択」、「制度を利用しやすい職場づくり」</li> <li>○介護と仕事の両立は86.4%が『継続可能』、『継続困難』は6.8%とほぼ前回同様</li> <li>○介護者の約4割は身体的・心理的不調があり、70代～80歳以上では6割が「あり」</li> <li>○介護者が不安に感じる介護は「認知症状への対応」が約半数、要介護度が重いほど不安に感じる割合が多い</li> </ul>